

令和 8 年度 第 5 回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日 時：令和 8 年 8 月 18 日(火) 17：00～18：00

場 所：Zoom を利用した Web 会議

参加者：9 名

下地千里（県立宮古病院）、西原政好（県立宮古病院）、真栄里隆代（ゆうかぎの会）

砂川 綾子（県立八重山病院）、山本孝夫（県立八重山病院）、友利寛文（那覇市立病院）

戸板孝文（県立中部病院）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター）、知念崇（琉球大学病院がんセンター）

欠席者：6 名

赤松道成（北部地区医師会病院）、有銘みどり（北部地区医師会病院）、吉田幸生（県立中部病院）、安次嶺宏哉（沖縄協同病院）、古波津万里子（沖縄県保健医療介護部健康長寿課）

田盛亜紀子（患者関係者）

陪 席：1 名

豊福真理子（琉球大学病院がんセンター）

【報告事項】

1. 令和 8 年度 第 4 回離島・へき地部会議事要旨について

西原委員より、資料 1 に基づき、説明があった。

2. がん診療連携拠点病院等の指定要件の改定案について

増田委員より、資料 2-1 から資料 2-3 に基づき、説明があった。

主な内容として、指定要件の見直し周期が 6 年から 3 年へ変更、拠点病院及び都道府県連携協議会の役割強化、治験・臨床試験に関する情報提供体制の整備、緩和ケア体制の充実並びにアピアランスケア及びリンパ浮腫への対応強化等について報告があった。また、現況報告書の提出スケジュール等について説明があり、各医療機関において早めの準備を進めるよう依頼があった。

戸板委員、下地委員及び山本委員より、三大療法に関する総合的研修を受けた医師の配置要件、緩和ケアチームへの社会福祉士配置要件及びアピアランスケア体制整備に関する質問があり、増田委員より、現時点で判明している内容について説明があった。

3. 小児がん拠点病院等の指定要件について

増田委員より、資料 3-1 から資料 3-3 に基づき説明があった。

小児がん診療体制について、全国 15 施設による従来の体制から、各都道府県に小児がん拠点病院を整備する方向で制度改正が進められていることが報告された。

4. がんゲノム医療中核拠点病院等の指定要件について

増田委員より、資料 4-1 から資料 4-3 に基づき説明があった。

がんゲノム医療についても制度改正が予定されており、各都道府県に拠点病院を配置し、その下に連携病院を配置する体制へ移行する方向性が示された。

5. その他

【協議事項】

1. 離島・へき地部会が所掌する分野の第4次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）の中間評価について

増田委員より、資料5に基づき説明があった。

本来は沖縄県がん診療連携協議会において中間評価案を報告し、意見を集約する予定であったが、協議会が延期となったため、現段階では評価案に変更はなく、今後の協議会開催後に再度検討する予定であることが報告された。

2. 北部・宮古・八重山医療圏における血液内科外来・腫瘍内科外来・放射線治療外来の達成状況について

増田委員より、資料6に基づき、説明があった。

北部地区医師会病院において、血液内科外来を令和8年9月より開始する予定であることが報告された。今後も現行体制を継続しながら、地域のニーズや運営状況を踏まえ、必要な体制整備について、引き続き検討することとなった。

3. 次回の開催日について

9月末から10月初旬を予定

4. その他